

# 華八輪 地区の名誉懸け躍動



入場行進で優勝旗を掲げ、本部席に手を振る上方地区選手団

奄美市民体育祭

熱戦に沸く

「晴れわたる 奄美の空のもと 集え 競え 八輪の華！」をスローガンに第11回奄美市民体育祭(奄美市、市教育委員会主催)は11日、同市名瀬運動公園陸上競技場で行われた。市内8地区の老若男女が地域の誇りを胸に、笑顔あり涙ありの熱戦を展開。秋晴れの空に歓声が響いた。当日の様子を写真で紹介する。



名物・俵運搬400リレー。30秒の俵に気持ちも乗せて次の走者へ託す



力強い声で国歌独唱した大島高3年の中田龍之介さん



重大大介さん(住用地区)が「平成最後の体育祭にふさわしいものとなるよう、正々堂々競技することを誓う」と選手宣誓



40歳代女子輪投げ。片足立ちになりながら競技に挑む伊津部の選手



男子むかで競争400リレーを2年ぶりに制し、仲間と喜びを分かち合う上方の選手たち



各地区の名誉を懸けて競った男子年代別400リレー



2人3脚輪くくりはコンビネーションが大事。写真は下方地区の選手



60歳以上男女ボウリング。狙いを定めてボールを転がす



子どもたちもチヂン(太鼓)をたたいて応援



前半花形の100m走。男子60代で新記録をマークした本山末男(左)

掲載写真をお返ししています

本紙に掲載された写真を、ご希望の方にお返しします。電話でお申し込みください。

料金(税込)  
2Lサイズ 250円 A4サイズ 550円  
お申し込み 0997-53-2121(代表)  
南海日新聞社